

2022年6月1日(水)第一水曜祈祷会

ネヘミヤ記1:1~11

「みこころに沿った悲しみ」

■ネヘミヤ記の背景 *バビロン捕囚以後のイスラエルの歴史(エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記)

- BC586年、南ユダがバビロンによって崩壊。多くの民が捕囚として連れていかれる。
- BC539年、ペルシャ王キュロスによって捕囚の民が解放され、祖国への帰還命令が下る。
- BC516年、神殿が完成。その後、BC458年に、学者エズラを中心とした人々が帰還。

1. ネヘミヤに悲しみの知らせ(1章1~3節) *ネヘミヤ…「主は慰めたもう」の意味

①ネヘミヤに知らせが届いたのは、エズラの帰還から何年後のことですか。

→ 13年後 *第二十年のキスレウの月(BC445年)

②ネヘミヤの兄弟のハナニは、どんな役割を果たしましたか。

→ユダから来た数人の者を、スサの城にいるネヘミヤに紹介し、エルサレムの報告をした。

③ネヘミヤがユダからもたらされた報告は、どのようなものでしたか。(あの州…ユダヤ州)

→大きな困難と恥辱の中にあること。城壁は崩され、その門は火で焼き払われたまま。

2. ネヘミヤの断食と祈り(1章4~11節) *断食…悔い改めを伴う祈り

①報告を聞いたネヘミヤは、どうしましたか。

→座り込んで泣き、数日の間嘆き悲しみ、断食して天の神の前に祈った。

②ネヘミヤは、神に向かってどのように呼びかけていますか。

→天の神、主よ。大いなる恐れるべき神よ。

主を愛し、主の命令を守る者に対して、契約を守り、恵みを下さる方。

③ネヘミヤは、第一に何を願いましたか。

→イスラエルの子らの罪を告白し、「私たち」という連帯責任で罪を告白した。

④ネヘミヤは、何を思い越してくださいとお願いしていますか。

→神は罪を犯す者を「散らす」方であるが、悔い改める者を「集める」方でもある。

⑤ネヘミヤは、イスラエルの民をどんな者たちだと訴えていますか。

→神が偉大な力と力強い御手をもって贖い出された、神のしもべ、神の民です。

⑥ネヘミヤの祈りにある「どうか今日」とは、どのような意味ですか。

→将来

【適用と分かち合い】

①ネヘミヤは、どのような人物ですか。

→

②ネヘミヤの祈りの特徴は、何ですか。

→